

1. メリケンパーク

メリケン波止場は明治元年(1868)兵庫港第3波止場として開設。米国領事館が近くにあって事からメリケン波止場と呼ばれるようになった。昭和62年(1987)メリケン波止場の西側一帯が埋め立てられメリケンパークとなる。神戸ポートタワーや神戸海洋博物館、異国情緒あふれる景観で、2017年の4月リニューアル工事が完成した。



※完歩証を提示すると神戸海洋博物館・カワサキワールドの入館料600円が500円になります。小中学生は50円引きです。
※震災メモリアルパークの回廊は台風21号の影響で立ち入り禁止です。

2. 神戸海軍操練所記念碑と陸奥宗光の碑

陸奥宗光(むつ むねみつ)は勝海舟が設立した海軍操練所で学び、明治維新後は伊藤博文内閣で外務大臣を務め、兵庫県知事の4代目を務めた人物である。メリケンパークに隣接する港公園に2つの石碑が並び、写真左側が「海軍堂之碑」、右側が陸奥宗光を称える「陸奥宗光顕彰碑」である。



3. 神戸海軍操練所跡

勝海舟は大阪(中央区淡路町3丁目)で海軍塾を始め、後に江戸幕府が許可を出し、この地に元治元年(1864)神戸海軍操練所を設置した。操練所の塾生には坂本龍馬、陸奥宗光、伊東祐亨、北添信摩、望月亀弥太等が在籍。しかし尊皇攘夷派が多かったことから慶応元年(1865)わずか1年で閉鎖される。



4. 神戸大橋

神戸大橋は完成当時、世界最大であった人工島ポートアイランドと神戸港新港第四突堤(神戸ポートターミナル)を結ぶ橋で昭和45年(1970)竣工。日本初のダブルデッキ・アーチ橋で歩道があり、歩いて橋を渡れる。7年前に完成した神戸ポートタワーと並び、高度成長期のみならず神戸を代表する建造物で、橋からは神戸港や街並み六甲山地を一望できる絶景ポイントとして知られる。



5. 中公園(原口記念公園)

原口忠次郎は明治22年(1889)佐賀県で生まれ、京都大学で土木工学を学び、60歳で神戸市長となり5期20年、80歳まで市長を務めた。昭和41年(1966)にポートアイランド造成工事に着工。しかしポートアイランドの第1期工事の完成を見ることなく昭和51年に80歳で死去。中公園にはその功績を称え原口記念公園が作られている。



6. ポーアイしおさい公園

正式名称はポートアイランド西公園。ポートアイランド西海岸にある緑地公園で「ポーアイしおさい公園」は一般公募による愛称である。公園には神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学、夙川学院短期大学のキャンパスがあり、神戸港、神戸ポートタワー、神戸ハーバーランドが一望できる神戸の新夜景スポットとして人気がある。



7. ポートアイランド北公園

ポートアイランドの建設と共に港や船を見ながら散策が楽しめる公園として昭和51年(1976)に完成。神戸大橋や神戸港、神戸の街並み、六甲連山も一望でき、昼も夜も楽しむ事ができる。公園内に「神戸港港湾殉職者顕彰碑」のモニュメントがある。



8. みなと異人館

明治39年(1906)、イギリス人貿易商ヘイガー氏の邸宅として現在も異人館が建ち並び、北野に建てられる。その後、昭和24年(1949)日本郵船株式会社が社員寮として利用。昭和53年(1978)神戸市が譲り受けたのを機に、ポートアイランド北公園に移築された。年に一度だけ内部公開しており、2018年は5月26日に一般公開された。



9. 神戸ポートターミナル

神戸ポートターミナルは神戸港・新港に大正時代に建設された日本最大の客船用埠頭(新港第四突堤)と施設(ターミナルビル)の総称で、現在のターミナルビルは昭和45年(1970)突堤東側に竣工した。税関や出入国管理、検疫も備え外航客船・国際フェリー用埠頭として、世界各国のクルーズ客船や上海行き・天津行き外航定期客船に使用されている。



10. みなとのもり公園

正式名称は神戸震災復興記念公園。みなとのもり公園も公募による愛称である。前身はJR貨物神戸港駅で震災の経験と教訓を後世の人々に継承するため、神戸のまちが復興から発展へと前進する姿を木々の生長とともに見つめていく公園を基本理念に、復興の記念事業および防災公園として整備され震災から15年目の平成22年(2010)に開園した。



11. 東遊園地

明治維新後の慶応3年(1868)、神戸居留地の外国人が使う、日本初の西洋式運動公園「外国人居留遊園」として開園。サッカーや野球、ラグビーなど多くのスポーツが外国人によって生まれ、西洋のスポーツが日本に広まる起点となった。阪神淡路大震災後は犠牲者を追悼する慰霊モニュメントが設置され、神戸ルミナリエの会場としても使用される都市公園。



12. 神戸市役所

神戸市役所本庁舎は1号館から4号館まで4つの建物があり、1号館の24階には市民開放施設として無料開放された展望ロビーもあり、市街地と神戸港を一望できる。



13. 生田神社

祭神は稚日女尊(わかひるめのみこと)。創建は神功皇后元年(201年)。神戸の地名は生田神社からと言われ、兵庫県内の廣田神社、長田神社とともに神功皇后以来の歴史を有する。神戸の安産祈願・恋愛成就・ご縁結びとしてご利益で知られる。



14. 北野異人館街(風見鶏の館、その他)

神戸北野町に異人館街が誕生した理由は開港後の来日外国人の増加による居留地の用地不足にあり、今の旧居留地に近い山麓に恵まれた北野村に外国人が多く暮らすようになった。北野異人館のシンボル「風見鶏の館」はドイツ人貿易商ゴットフリート・トーマス氏の自邸として建てられた。(有料 500円)



15. トアロード

トアロードは旧居留地を通る明石町通りの延長上にあり、明石町通りと花時計線(西国街道)の交差点(北東角には三宮神社がある)を起点に、北へ約1kmほどの長さを有する。慶応3年(1868)神戸港が開港され、外国人が居住、営業する為に外国人居留地が設けられた。次第に住まいを北野に求めた彼らが居留地に向かう道としてトアロードが開通した。



16. 北野工房のまち

トアロードに面して建つ「旧北野小学校」のレトロな校舎を活用した人気スポット。個性あふれる21の工房では、スイーツや神戸牛・コロケ、日本酒など神戸ブランドのお買い物のほか、いろいろなクラブ体験も楽しめる。



17. 三宮神社

神戸市内の一宮から八宮までの神社の中で三柱目にあたる神社で祭神は天照大御神の御子である女神津津姫命(たぎつひめのみこと)を祀る。境内の南隅に「史蹟神戸事件発生地」があり、開港間もない神戸で備前藩士の行列を横切ったフランス水兵を切りつけた事による事件が発生し明治政府初の外交問題となった。事の成り行きでは神戸が香港の九龍や上海のように理不尽な植民地支配下に置かれる事態もありえ、隊の責任者であった瀧善三郎が切腹する事で一応の解決を見た。



18. 神戸ポートタワー

昭和38年(1963)、中突堤(埠頭)に建設された展望用のタワーで港町神戸のランドマークタワーとして広く親しまれてきた。和楽器の鼓を長くしたような双曲面構造の美しい外観と独特のパイプ構造を持ち、その優美さから「鉄塔の美女」と呼ばれる。
※完歩証を提示すると神戸ポートタワーの入館料700円が600円になります。
※小中学生は50円引きです。



小学生以下のお子様対象のクイズです!

こどもクイズ

問題! クイズに答えて記念品をゲット!
昨年開港150年だった神戸港。大阪港も150年だった。○か×か?

答え